

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	阪神高速道路大和川線事業				シート番号	019-064
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画	課 評価責任者(課長名) 柿本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法、道路法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	大和川線は、平成7年に都市計画決定し、平成11年度に阪神高速道路公団が事業に着手したが、平成17年10月の道路公団民営化による事業区分の見直し、並びに本市の政令指定都市移行を経て、平成18年4月から大阪府、阪神高速道路株と連携し事業を推進している。 大和川線は令和元年度末に全線供用を開始した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	沿線地域住民及び高速道路利用者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	大和川線は、都市再生プロジェクトに位置づけられている「大阪都心部における新たな環状道路」の一部を担う道路であり、整備に伴い、大阪南部地域における東西方向一般道の交通混雑が大幅に緩和されるなど、関西都市圏の社会経済活動の活性化に大きく寄与する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	大和川線は、阪神高速道路4号湾岸線と同14号松原線を連絡する全長約9.9kmの自動車専用道路であり、そのうち本市の施行区間は北区常磐町から堺市と松原市の市境界までの約1.6kmである。事業は、本市、大阪府ならびに阪神高速道路株式会社との三者が共同して進め、令和元年度末に大和川線全線の供用を開始した。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先	大阪府、阪神高速道路株式会社、工事の受注者					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	10,536,323	6,702,042	7,695,825	5,188,958	7,830,936	5,778,575	1,495,917	
主な事業費内訳	工事委託費等(機構改革に伴う追加業務を含む)	千円	10,476,760	6,687,427	6,817,669	4,837,007	7,811,564	5,774,602	1,490,871
	用地費	千円	20,000	0	650,000	345,714	0	0	0
	その他	千円	39,563	14,614	228,156	6,237	19,372	3,973	5,046
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	6,748,000	4,451,641	4,839,310	3,312,310	4,954,655	3,748,616	831,320
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円	3,391,000	2,037,600	2,534,600	1,667,400	2,512,400	1,806,100	574,200
	その他()	千円							
一般財源	千円	397,323	212,801	321,915	209,248	363,881	223,859	90,397	
12 人件費 (b)	千円	73,800	73,800	73,800	73,800	48,600	48,600	26,026	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,610,123	6,775,842	7,769,625	5,262,758	7,879,536	5,827,175	1,521,943	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	阪神高速道路大和川線事業	シート番号	019-064
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	平成18年度から着手している大和川線事業について、令和元年度も継続して、阪神高速道路株式会社および大阪府と綿密な調整を行いながら、工事を推進し、令和元年度末に大和川線全線の供用を開始した。 (工事進捗状況) ○大阪府委託区間 シールドトンネル工事: 竣工 常磐東開削トンネル工事: 竣工 上面復旧工事等: 工事中 ○阪神高速道路株式会社委託区間 シールドトンネル工事: 竣工 開削トンネル工事: 竣工 仮設工事等: 工事中 (事業進捗率) 平成29年度時点 達成率87% (実績値83,410,000(千円)/総事業費96,400,000(千円)) 平成30年度時点 達成率92% (実績値88,516,000(千円)/総事業費96,400,000(千円)) 令和元年度時点 達成率98% (実績値94,132,000(千円)/総事業費96,400,000(千円))						
		定性的な目標						
		15 令和元年度末の全線供用開始						
		目標に対する実績						達成
16		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
		達成率						
		評価						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	阪神高速道路株式会社および大阪府と綿密な調整を行いながら、計画的に工事を推進した結果、令和元年度末の全線供用開始の目標を達成できた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	阪神高速道路大和川線事業	シート番号	019-064
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 現在、大和川線は、地下部分の本体構造が完成して、全線供用を開始している。 残事業である地上部分の上面復旧工事等は令和2年度に完了する予定であり、現時点から廃止することはできない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業は平成12年より工事着手しており、現在まで工事により長期間にわたり地域住民等に負担をかけている。 上面復旧工事等の残事業を早期に完了し、住民負担を早期に解消する必要がある。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 上面復旧工事等は令和2年度に完了する予定であり、現時点から事業規模縮小やコスト縮減を図ることは困難である。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 令和2年度に事業完了予定であり、改善する余地がない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 ④役割分担・連携の状況 大阪府・阪神高速道路株式会社と連携調整し、また阪神高速道路株式会社とは合併施行により、事業を推進している。 ⑤他都市の合併施行事例 京都市 阪神高速8号京都線 阪神高速道路株と合併施行(平成20年1月開通) 第二京阪道路 国土交通省、西日本高速道路株と合併施行(平成20年1月開通) 大阪市 都市計画道路淀川左岸線 阪神高速道路株と合併施行(第2期事業) 国交省 都市計画道路淀川左岸線 阪神高速道路株と合併施行(延伸部)
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 目標である、令和元年度末の大和川線全線の供用開始は達成した。 今後は、残事業である上面復旧工事等を残すのみであり、令和2年度で事業完了する予定である。 なお、大和川線事業に関連する周辺整備事業は、令和3年度以降も継続して実施していく。		